

一秒の言葉

ふだんよく使っている言葉のうち、一秒ほどの短い言葉を思い浮かべてください。

「おはよう」や「ありがとう」、「大好き」「大丈夫？」など、いろいろな言葉が思い浮かぶのではないのでしょうか。

先月の“人権の日”の放送では、「自分の言葉」や「言葉のもつ力」について考えてほしいと願い、小泉 吉宏さんの「一秒の言葉」という詩の一部を紹介しました。

ここで、あらためて全文を紹介します。

「はじめまして」この一秒ほどの短い言葉に 一生のときめきを感じることもある
「ありがとう」 この一秒ほどの短い言葉に 人の優しさを知ることがある
「がんばって」 この一秒ほどの短い言葉で 勇気がよみがえってくることもある
「おめでとう」 この一秒ほどの短い言葉で しあわせにあふれることがある
「ごめんなさい」この一秒ほどの短い言葉に 人の弱さを見ることがある
「さようなら」 この短い言葉が一生の別れになる時がある
一秒に喜び 一秒に泣く 一生懸命 一秒

私たちが無意識のうちに過ごしている一秒という瞬きほどの短い時間で、人はしっかりと自分の気持ちを伝えることができます。

たった一秒の言葉が、時には、人の心や人生を幸せにします。逆に、何気なくはなった言葉が、自分の気付かないところで、人の心を傷つけたり、人生をよくない方向に導いたりします。言葉には大きな力があるのです。

言葉は、使い方次第では「花束」を受け取ったかのように、うれしいものになります。

ほんの一秒でできるあいさつや言葉がけで、周りの人と心と心をつないでいきませんか。心温まる、やさしい言葉がいっぱい立入が丘小学校にしていきたいものです。



お願い

学校へ忘れ物を取りに来られる場合は、職員の働き方改革の観点から、午後6時までに取りに来ていただきますよう、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【職員の勤務時間は、8：20～16：50です。】